



広報

# みわ

2004 **10** No.386  
最終号

長い間ご愛読いただき  
ありがとうございました

(尺丈山から望む夕日)

平成16年10月1日現在  
前月比  
人 口 4,563人(-8)  
男 2,272人(-5)  
女 2,291人(-3)  
世帯数 1,390戸(±0)

# 美和村から常陸大宮市へ

平成16年10月16日、  
美和村は「常陸大宮市」へと生まれ変わります。

昭和31年（1956年）9月29日、  
檜沢村と隣郷村が合併し美和村が誕生。  
あれから48年。

美和村は「豊かな暮らしと星とホタルの交流のまち」をめざして  
今日まで歩んできました。

そして、夢と希望を胸に  
常陸大宮市への第一歩を踏み出そうとしています。



美和村長

大瀧典夫

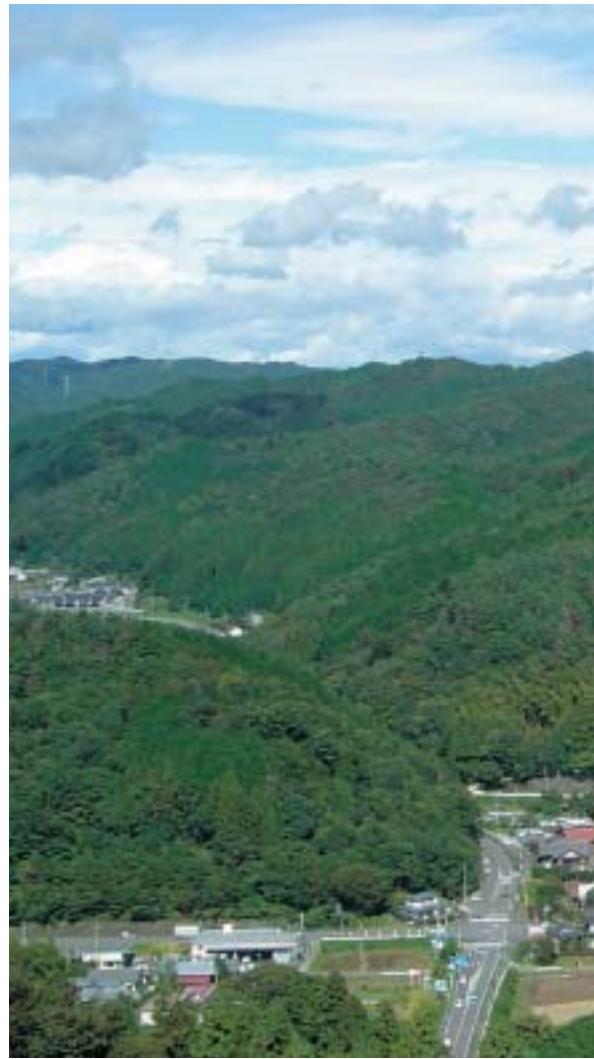
わがふるさと美和村は、昭和31年9月29日に檜沢村と隣郷村が合併して誕生いたしました。以来48年の歳月をかけて、村民一人一人が安心しながら健康でゆとりと活力に満ちた快適な生活が営めるよう、生活基盤の整備や、産業と教育の振興、福祉の充実などを重点とした諸施策に村民一丸となって取組んでまいりましたが、時代の要請というべき地方分権の受け皿として効率的な行政運営を目指し、大宮町、山方町、緒川村、御前山村と美和村の5町村がこの16日に合併することになり、その前日の15日をもって美和村は48年の歴史に幕をおろし閉村することになりました。永年に亘って美和村のためにご尽力をいただいた皆様方にとりまして感慨無量のものがあるうかと存じますが、私にとりましても勿論のことでございます。

合併以来、社会資本の充実に向け邁進すると共に、住民福祉の向上にも努めてまいりました。諸々の実績を納めることが出来たことは、先人達が築いてまいりました良き伝統と村勢進展に多大なるご支援ご指導を賜りました国会議員、県議会議員を始め、県当局、村議会議員並びに村民の皆様方のご尽力とご協力の賜であり深く感謝を申し上げます。

近年、我が国の社会情勢は大きく変貌しつつあります。かつての高度経済成長からバブルの崩壊による景気の低迷、急速な少子高齢化社会の到来、急を要する行財政改革など地方自治体にとりまして最も大きな試練を迎えている今日であります。

こうした厳しい情勢を切り切るために町村合併の道を選択したのでありますからより効率的で公平な行政運営を行い、さらには財政基盤の強化を図って住民の負託に応えながら地域は勿論、新しい市全体の活性化を具現していかなければなりません。

新しい市の目指す将来像を「豊かな自然と調和した安全、快適な



美和村議会議長

## 岡山和夫

いま48年の長い歴史と多くの先人が築き上げた伝統ある美和村に幕が引かれようとしています。いよいよ5町村合併が現実のものとして、常陸大宮市が誕生するからであります。顧みれば、昭和31年9月に、檜沢村と隣郷村が合併し新生美和村が誕生しました。当時の人口は9,093人、戸数1,573戸、役員職員36名でのスタートでした。その後有線放送、有線電話の开通、役場新庁舎の完成、中学校の統合、開発センターや

国保診療所の完成など数多くの事業が展開され、当時の村長さん始め関係各位のご努力により、美和村の近代化への推進事業が積極的に進められ、大きな発展を遂げてまいりました。その間高度経済成長期があり、円高不況やオイルショックなど今日を迎えるまでには幾多の困難もありました。その後バブルの崩壊とさらには長引く不況が今なお続いております。景気は回復の方向にあるとは言われながら、中小

企業や商工業には大変厳しい状況にあります。少子高齢化は一段と加速し、人口の減少は年々続いております。そうした中で合併議論は浮上しました。そして平成15年4月に5町村による合併協議会が立ち上げられ、本格協議が続けられてきました。市町村合併が必要な背景には「地方分権」「少子高齢化」「財源の構造改革」の3要素があると言われるます。地方分権では自治体に自立性が求められ規模や能力を拡大する必要がある、人材と財源の結集により出来なかった仕事も可能になり、小さな地域のワンセット主義から、現実の大きな生活圈でのワンセットとなり効率化につなが

るものと言われます。もちろんデメリットもあります。しかし合併は時代の流れであり避けては通れない道であります。美和村としての長い歴史を思うとき、心に万感の思いを禁じません。こんにちまで村の発展の為に尽力頂いた、歴代の村長さん始め議会議員の皆さんや関係各位、村民の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。

美和村の名称は無くなりませんが合併は終わりではなく、新たな時代への出発であります。新生常陸大宮市としてのスタートであります。新市建設計画、基本計画にありますように「豊かな自然と調和した安心快適な活力のまち」づくりを目指して、市民の皆様と共に一体となって取り組んで参りたいと思っております。そして新しい常陸大宮市が名実共に、安心して暮らせる快適なまちになるよう、合併して良かったと誰もが実感できる街になるよう願うところであります。最後になりましたが皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ閉村にあたっての挨拶と致します。

活力のまち」として新市まちづくり計画を策定すると共に、健やかに安心して暮らせるまち、豊かな自然と調和した住みよいまち、人に優しく安全で快適なまち、活力にあふれ安定して働けるまち、個性と文化を育むふれあいのまち、そして協働のまちといった新しいまちづくりを進めていくことが強く求められることとなります。美和村は小さな村でしたが村民の大きな心で支えられた素晴らしい村でした。たとえ美和村がなくなっても、ふるさと美和村は私共の心の中で永遠に存続していくものと確信いたします。最後に、美和村の閉村を限り無く惜しみながら、新たに誕生する常陸大宮市の将来へ大きな希望と期待をこめて、一層の躍進と発展をご祈念申し上げ挨拶と致します。

# 美和村のあゆみ

31

1956 【昭和31年】 檜沢村と隣郷村が合併し美和村となる

美和村広報第1号発行

1957 【昭和32年】 檜沢診療所開設

1958 【昭和33年】 有線放送・電話開通

1959 【昭和34年】 美和村母子健康センター開設

1961 【昭和36年】 美和村課室設置条例の制定

1962 【昭和37年】 商工会法による美和村商工会設立

美和村家畜診療所開設

1964 【昭和39年】 役場新庁舎完成

第1次林業構造改善事業指定

1965 【昭和40年】 振興山村事業地域指定

1966 【昭和41年】 檜沢・隣郷両農協合併、美和村農業共同組合設立

合併10周年記念式典挙行。村章制定

1967 【昭和42年】 村道萩の越路線開通祝賀式

1969 【昭和44年】 隣郷中学校、檜沢中学校を統合して美和中学校となる

1970 【昭和45年】 過疎対策緊急措置法による過疎町村に指定

美和村体育協会発足

1971 【昭和46年】 美和中学校開校

県道高部栃原線、タバッコ峠開通

1972 【昭和47年】 美和中学校体育館完成

農村地域集団電話開通

1973 【昭和48年】 美和村山村開発センター完成

1974 【昭和49年】 第2期山村振興事業開始

美和村新生活運動推進協議会発足

1975 【昭和50年】 美和村統合診療所完成

美和中学校プール完成

大宮、山方広域消防へ加入、救急業務開始

50

45

40

35



1976 【昭和51年】 第2次林業構造改善事業開始  
美和村合併20周年記念式典挙行

老人いこいの家完成

1977 【昭和52年】 統合薩郷小学校開校、スクールバス運行開始

1978 【昭和53年】 美和村運動公園完成

1979 【昭和54年】 統合檜沢小学校開校、スクールバス運行開始

美和村文化財指定

1980 【昭和55年】 薩郷小学校体育館完成

美和村有線放送業務廃止

第3期山村振興事業開始

美和村総合計画審議会設置

青年団体協議会主催第1回ふるさと祭り開催

1981 【昭和56年】 美和村(第2次)総合計画策定

鷺子地区山村広場完成

1982 【昭和57年】 檜沢小学校体育館完成

村民の森花立公園着工

1983 【昭和58年】 檜沢小学校プール完成

鷺子山「日本の自然100選」に選定される  
簡易水道事業着工

1984 【昭和59年】 檜沢・薩郷保育所、美和幼稚園、開所・開園

薩郷小学校プール完成

国道293号線全線開通

1985 【昭和60年】 高齢者コミュニティセンター完成

科学万博つくば85美和村催事参加

村おこし事業開始

1986 【昭和61年】 美和村簡易水道事業一部給水開始

美和ログハウス生産組合操業開始

小田野地区山村広場完成

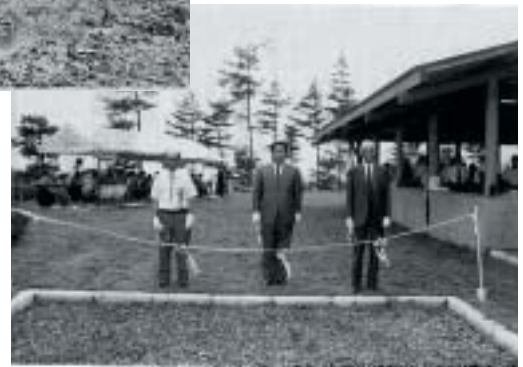
美和村母子健康センター廃止

美和村合併30周年記念式典挙行

村民憲章、村の花・木・鳥の制定、美和音頭製作



- 1987 【昭和62年】 全国赤ちゃん誕生記念植樹祭開催  
緒川ダム現地事務所開設
- 1988 【昭和63年】 美和村簡易水道事業完成  
第1回全国美しい村サミット開催
- 1989 【平成元年】 緒川ダム水源地域対策特別措置法に指定  
花立自然公園開園  
第1回美和村ふるさと祭開催
- 1990 【平成2年】 過疎地域活性化特別措置法による過疎町村に指定  
第1回花立自然公園「さくらまつり」開催  
「全国美しい村」姉妹村調印  
美和村過疎地域活性化計画策定  
美和村工芸ふれあいセンターオープン
- 1991 【平成3年】 美和村総合計画策定  
第1回「美和の森ファミリーフェスティバル」開催  
「美和村緑の少年団」が緑化推進運動功労者として内閣総理大臣表彰を受ける  
第1回「花立山星まつり」開催  
第1回人材育成事業（アメリカ西海岸視察）が実施される
- 1992 【平成4年】 美和村観光協会設立
- 1993 【平成5年】 花立自然公園スペースアスレランドオープン  
第5回「全国美しい村サミット」本村で開催  
美和村史が刊行  
水稲が大凶作、作況指数33・6  
待望の温泉湧出
- 1994 【平成6年】 美和村老人保健福祉計画を策定  
温泉スタンド無料給湯はじまる  
美和村無線情報システム開局  
美和温泉「ささの湯」オープン  
美和村物産センターオープン  
美和村三浦杉公園オープン



1996 【平成8年】 花立自然公園に「ログキャビン」オープン

美和村総合福祉センターオープン

花立山天文台「美スター」オープン

美和村合併40周年記念式典挙行

美和温泉「ささの湯」入館者10万人突破

1997 【平成9年】 美和村観光ビデオ完成

物産センターに「おまつり館」が完成

美和村広報300号発行

観光キャラクター、愛称「スタッピー」と決定

1998 【平成10年】 冬季オリンピック長野大会へ全国美しい村姉妹村としてボランティアに参加

尺丈山百樹の森づくりに着手

ささの湯に農産物直売所がオープン

鷺子地区農業集落排水事業に着手

美和温泉「ささの湯」入館者20万人突破

鷺子地区農業集落排水事業供用開始

2001 【平成13年】 新館美和温泉「ささの湯」オープン

2003 【平成15年】 JR高速バス運行開始（烏山町↔上野・新宿）

「全国美しい村連邦会議」美和大会を開催、15

年間の歴史に幕

新館美和温泉「ささの湯」入館者10万人達成

美和中屋内運動場が完成

大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村が

合併協定書に調印

新館美和温泉「ささの湯」入館者20万人達成

美和村から常陸大宮市へ



# 記念式典



## 記念碑除幕式

10月2日、役場庁舎正面において美和村閉村記念式典に先立ち、閉村記念碑除幕式が行なわれました。

この記念碑は、10月16日に「常陸大宮市」が誕生することにより「美和村」がなくなるため、村の48年間の足跡を後世末永く残す目的で役場庁舎正面のいっかくに整備されたものです。ここには、歴代村長の名前などを石に彫り込み設置されました。

引き続き、美和村工芸ふれあいセンターにおいて閉村記念式典が行なわれ、国・県会議員、高野之夫豊島区長をはじめ多数のご来賓や村内からは、歴代の特別職・議会議員の皆様、各種団体の代表の皆様をはじめ多くの皆様が出席されました。

式典は、村長式辞、村議会議長のあいさつの後、村に功労があった方々や団体、企業への表彰状授与・感謝状贈呈がおこなわれた後、幼稚園、小中学校の子どもたちが描いた美和村や常陸大宮市の夢などの作文、絵画コンクール（応募総数539点）の表彰状授与がおこなわれました。

その後、ご来賓の皆様から祝辞をいただいた後、村長と議長がステージ上にある村旗を取り外し降納しました。





# 美和村閉村



10月2日、工芸ふれあいセンターにおいて「和太鼓と津軽三味線まつり」が開催されました。

閉村記念式典後、一般の皆様を対象におこなわれたこの催しは「鶯子祭囃子保存会」「美和太鼓」「鼓粋（和太鼓）」「小山豊（津軽三味線）」の皆様が出演されました。勇壮な太鼓の響きと、三味線が奏でる音色に会場からは大きな拍手と歓声がわきあがっていました。

## 表彰状・感謝状を受けられた皆さん（敬称略）

### ●地方自治功勞

田沢清志	大瀧留壽	長岡宗正	小室猛	下桑谷文	岡山利德	薄井進
高井作衛	川野邦美	河野洪彬	山田新武	室柳正光	山沼佳一	瀨賀村西
河面敏修	小益正肇	小大室金三	栗内藤次	青柳野守	岡崎正常	木河山保
小室忍敏	堀坂井一	佐藤崎成	佐関内青	岡崎守宏	間宮西長	岡板俊文
平山有司	川藤和	岡吉長	柳部孝夫	桑田正勇	葛益子秀	矢鈴木作之
渡辺保男	小川和船	葛西光昭		堀江好男	片岡江一	鈴岡崎利
卜部秀男				野昭壽	堀江幸	河野信一

### ●社会福祉功勞

岡崎勝一	栗田秀雄	大金登吾	佐藤みよ	間宮マス子	内田好近	小暮みつ
栗田勤	長岡税壯	河野昭雅	堀江弘雄	青木米子	平塚定芳	高井昇郎
河野碩也	大森	國松雅紀	川野秀雄	河野斌		小室八郎

### ●保健生活環境功勞

国井芳彦 岡崎もと 高橋 健

### ●産業経済振興功勞

高澤義徳 大森忠雄 河野一男 河西 敏 岡崎俊一 益子忠一 岩切 太

### ●教育文化功勞

川野巖	相田守治	川勾壽夫	坏民生次	井野瀬仁美	河野秀男	河西和文
小室登隆	佐藤彪幸	佐藤次男	大塚國次	小暮穀守夫	石井覺一郎	河田孔一
川和清隆	青柳幸雄	長岡美幸	大金栄一	岡山松夫		

### ●消防防火功勞

平塚基	河西誠	堀江隆一	岡山勝彦	岡崎市之進	野澤昌夫	小室達雄
岡山勲	平塚郷太郎	小野瀬克夫	岡山新一	青木清之進	平塚彰弘	岡山隆一
清水喜一	石塚庄一	阿久津至志	河西昌一	小室實	川勾幸一	岡山建一
内田俊五	坂井義一	木村真澄	成井文夫	川西正則	内田幸一	河野建一
堀江三男	長岡由美					

### ●特別功勞

小船賢壽 坏 純子

### ●特別表彰

平塚次郎衛門 益子正 大森林一郎 堀江昇吉 岡崎正男 岡山 肇 間宮 清  
 鳥羽健次 手づくりボランティア杉の実会 切手収集ボランティアやまぶき会 かわせみの会  
 美スターボランティアの会 美和村林業担い手グループ 美和村給食ボランティア ピジョン株式会社

# 平成15年度 決算を認定

## 第3回

## 村議会定例会

### 議長に岡山 和夫氏を選出

平成16年第3回美和村議会定例会が、9月7日から16日までの10日間の会期で開かれました。今議会は、平成15年度一般会計並びに特別会計の決算認定などを中心に審議。また、議長の選任が行なわれました。

#### 提出議案

##### 条例の廃止(可決)

美和村ふるさと創生基金条例等を廃止する条例について

##### 補正予算(可決)

平成16年度美和村一般会計補正予算(第3号)

(3千7百72万1千円を追加し、予算の総額を31億4千99万円としました。)

平成16年度美和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成16年度美和村老人保健特別会計補正予算(第2号)

平成16年度美和村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

平成16年度美和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

平成16年度美和村介護保険特別会計補正予算(第1号)

##### 合併に伴う案件(可決)

緒川村外7カ町村公平委員会からの脱退について

大宮地方広域組合からの脱退について

大宮地方環境整備組合からの脱退について

茨城北農業共済事務組合からの脱退について

大宮地方広域組合から山方町、美和村、緒川村及び御前山村が脱退することに伴う財産処分について

大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村合併協議会の廃止について

大宮町外3町村介護認定審査会共同設置を廃止することに

関する関係地方公共団体の協議について

水戸地方農業共済事務組合の規約変更について

城北地方広域組合の規約変更について

##### その他

美和村固定資産評価審査委員会委員の選任について(同意)

請願等の件(採択3件)

通告による一般質問(4人)

議員提出議案(2件)

### お知らせ

#### 美和村の 広報紙について

美和村の広報紙「広報みわ」は、今月号をもって終了いたします。また、「広報みわお知らせ版」についても10月下旬号をもって終了となります。

長い間、ご愛読いただきありがとうございます。



#### 常陸大宮市の 広報紙について

10月16日、常陸大宮市誕生後、新市の広報紙「広報みわ」が発行されます。創刊号は、10月16日以降に発行されます。また、「お知らせ版」についても10月16日以降に発行されます。

※詳しくは合併協議会だより第16号に掲載されています。

# 村の会計をお知らせします

平成15年度の一般関係及び特別会計の歳入歳出決算が、9月の議会定例会で認定されました。一般会計の歳入では前年度に比べ2.7%増の33億8,210万円。歳出では2.5%増の32億6,733万円となりました。

## 【主な歳入】

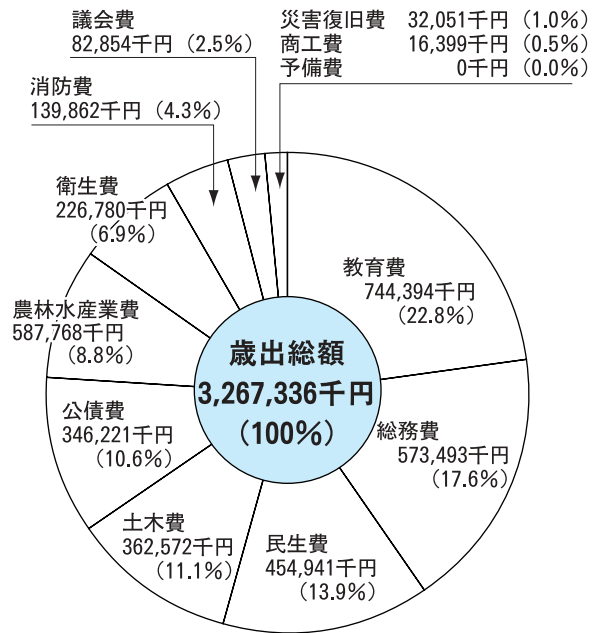
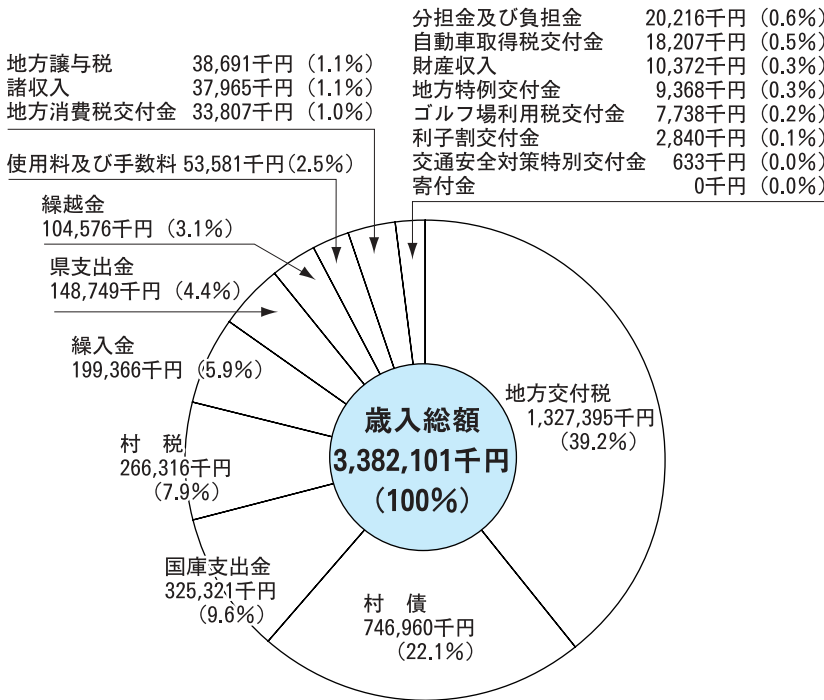
自主財源の村税・繰入金・繰越金等は、5億7,026万円です。村税については、前年度に比べて3.4%減の2億6,317万円となりました。

また、依存財源の地方交付税や国・県支出金等は、歳入全体の53.3%で昨年度とほぼ同じ18億147万円となりました。

## 【主な事業の歳出】

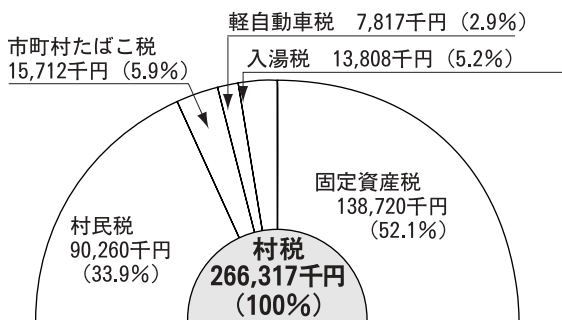
- ・美和中学校屋内運動場改築工事 4億7,256万円
- ・防火水槽建設工事 1,323万円
- ・消防小型ポンプ付積載車（1台） 441万円
- ・村営住宅建築工事（冥加平住宅） 7,535万円
- ・村道（17,699万円）・農道（952万円）・林道（2,306万円）新設及び改良工事費のほか、母子・福祉・衛生事業費や人件費等経常的な経費に支出されました。

●お問合せ 役場総務課 ☎58-2111



**村民ひとりの税負担 56,651円**  
(昨年より1,109円の減)

**村民ひとりに使われたお金 695,030円**  
(昨年より26,310円の増)



## ◆特別会計◆

(単位：千円)

会計区分		収入済額	支出済額
国民健康保険	事業勘定	501,126	440,577
	施設勘定	223,358	206,057
老人保健		607,489	589,602
簡易水道		339,589	308,898
農業集落排水		141,089	135,851
宅地開発分譲		2,179	559
介護保険		290,072	278,505

第55回茨城県消防ポンプ操法競技大会那珂地区大会

**第5分団優勝** (小型ポンプの部)

**第1分団準優勝** (ポンプ車の部)

9月12日、おみやや消防広場において、那珂地区操法競技大会が開催されました。  
 この操法大会は、団員の士気高揚と基本的消火技術の向上を図るのが目的で、火点に放水するまでの迅速かつ的確な動作・規律・安全性などを競い審査されるものです。  
 村代表として、参加した選手たちは、4ヶ月間にも及ぶ厳しい訓練の成果を発揮し、第1分団は、ポンプ車の部で準優勝。そして、第5分団は、小型ポンプの部で見事優勝を果たし、両分団ともすばらしい成績を収めました。



第1分団 (武石寿長分団長)

- (指揮者) 岡崎日出男
- (1番員) 栗田 功
- (2番員) 小林 禎
- (3番員) 萩庭 晃則
- (4番員) 栗名 大輔
- (補欠員) 武石 政男



第5分団 (佐藤勝分団長)

- (指揮者) 川和一美
- (1番員) 川和 智徳
- (2番員) 小室 郁雄
- (3番員) 岡山 修二
- (補欠員) 佐藤 正義
- (敬称略)



▶火点めがけて



9月29日、鷲子十文字において、美和村交通安全対策協議会、大宮地区交通安全協会美和支部(支部長小船賢壽)、交通安全母の会(会長坏純子)、心身障害児者親の会(会長堀江英夫)のみなさん35人が参加して、行き交うドライバーにシートベルトの着用など安全運転の呼びかけをしました。  
 また、「母の会」から、無事の祈りを込めて作った、子犬のマスコットもいっしょに手渡されました。

— 秋の全国交通安全運動 —  
**アップ・ダウン作戦を展開!**



9月12日、入檜沢自治会では、この春県や村の補助を受けて建築した山車小屋をかこんで、25年ぶりとなる秋祭りが盛大に開かれました。  
 会場では、特設舞台が設けられカラオケ大会、ビンゴゲームなどが催され、子どもからお年寄りまで楽しいひとときを過ごしていました。

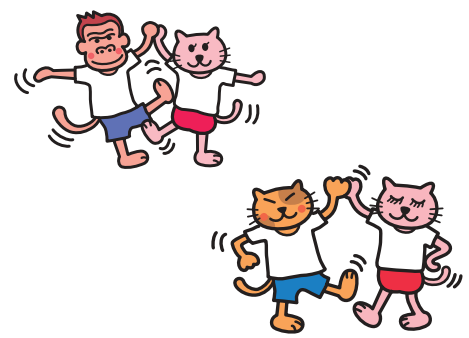
**25年ぶりの秋祭り!**

学  
校  
・  
施  
設

の  
話  
題

小・中学校

秋の運動会



美和中 9/4

▶ ナイスバトントンタッチ!



▶ 恒例の応援合戦



檜沢小 9/18

▶ お父さんもハッスル!



隆郷小 9/18

▶ 力を合わせて

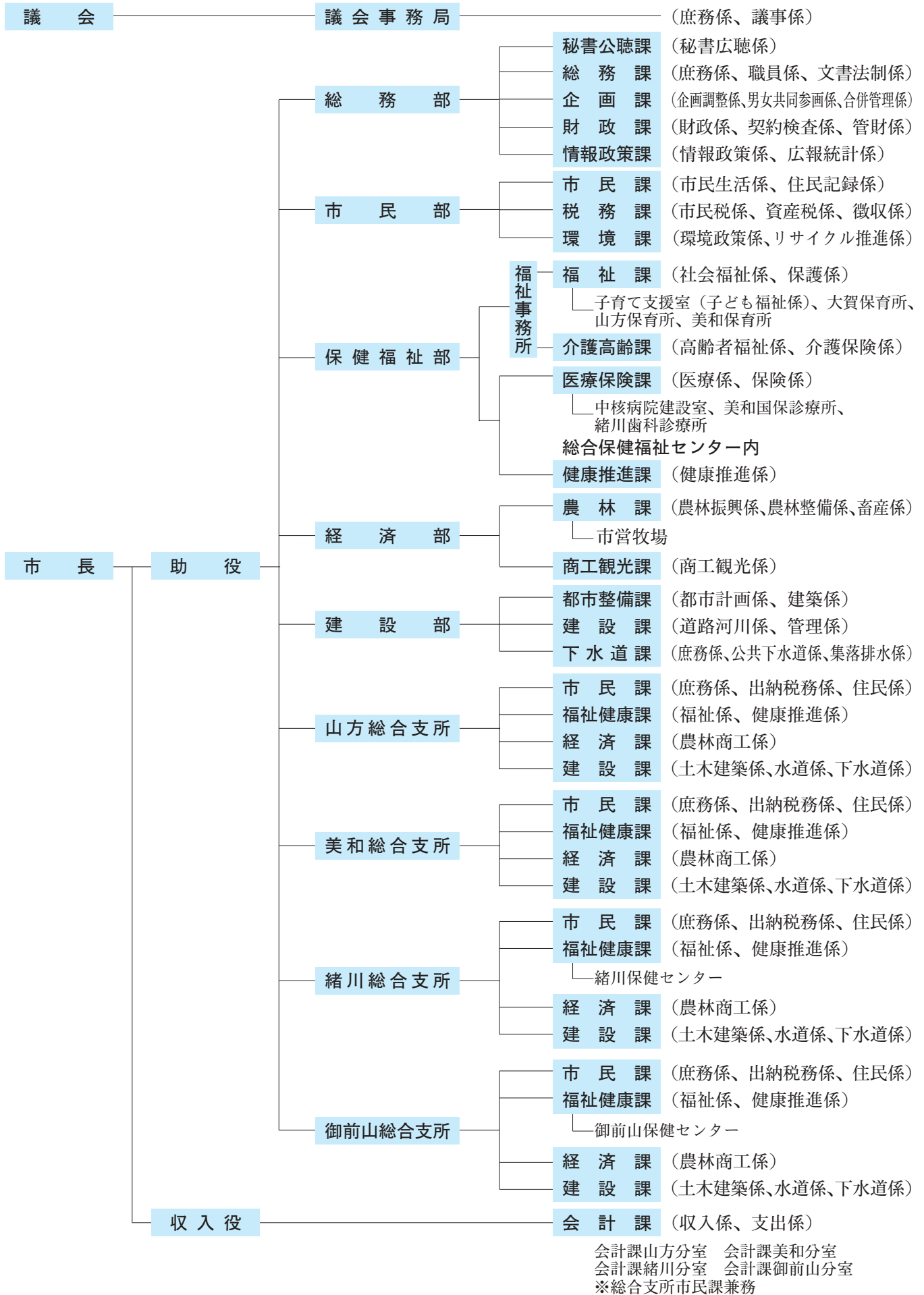


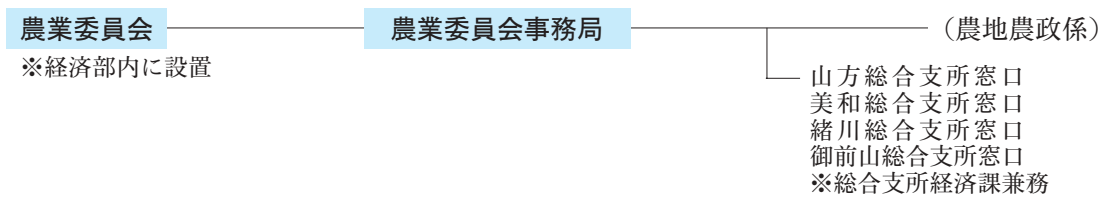
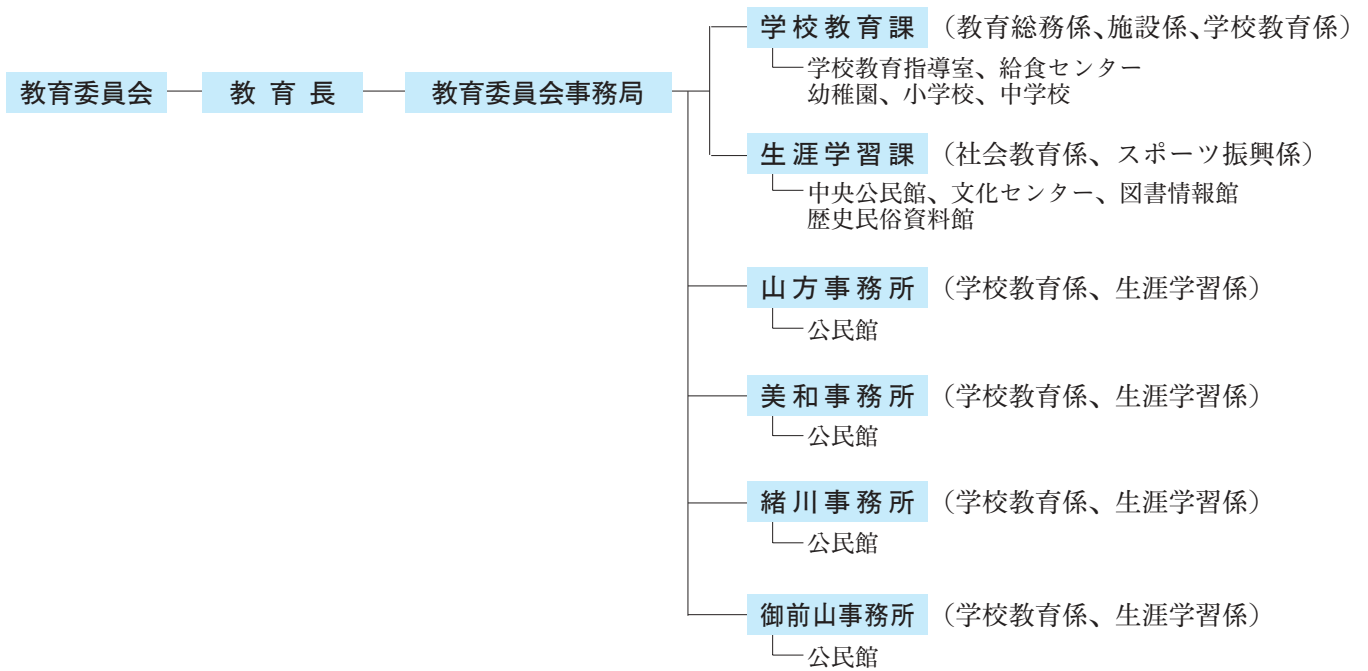
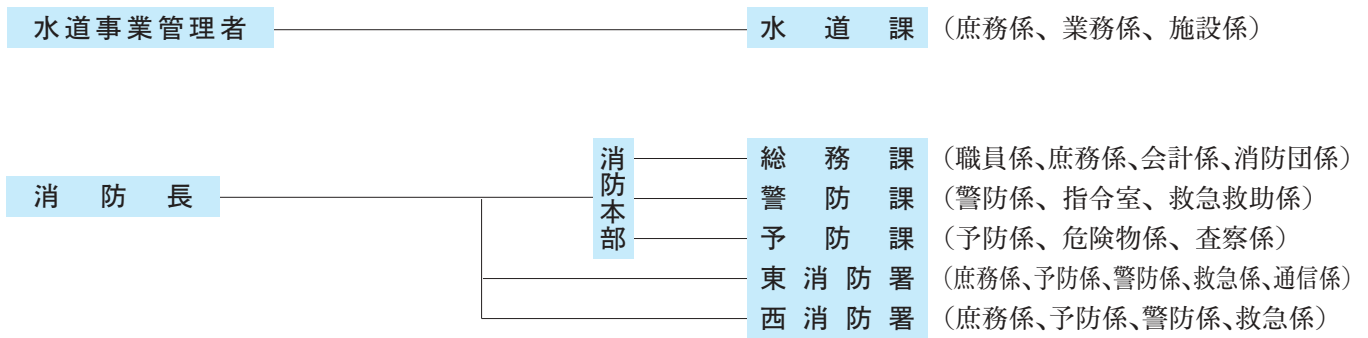
▶ みんな美和村が大好きです



▶ バッチリきまったね!

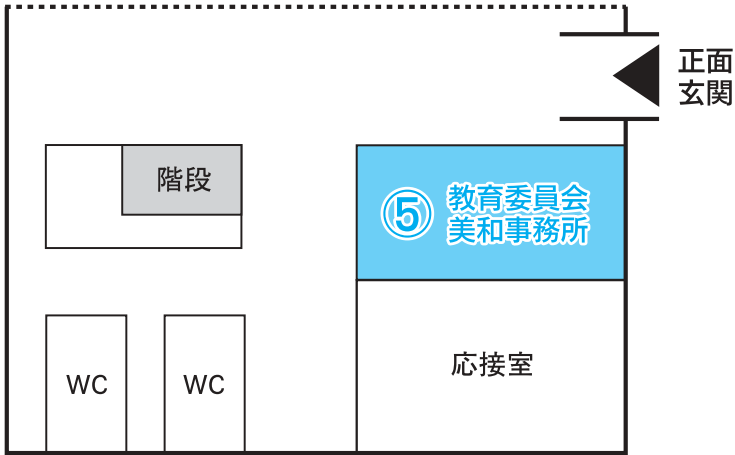
# 常陸大宮市行政機構図



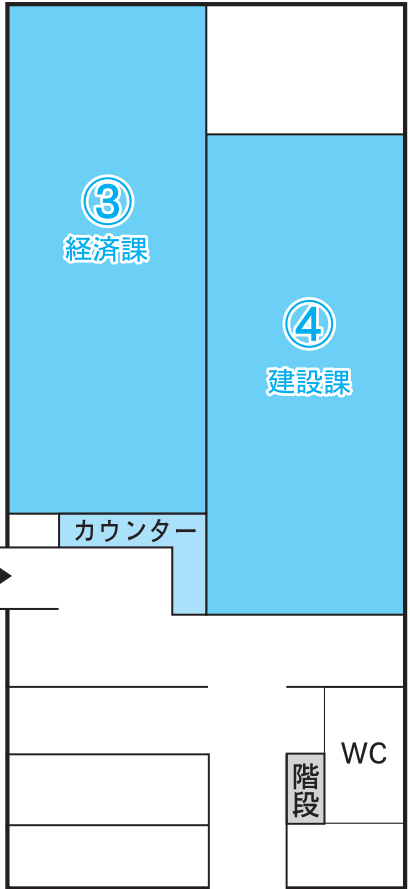


# 美和総合支所配置図

## ⑥ 工芸ふれあいセンター



## 新庁舎 1階

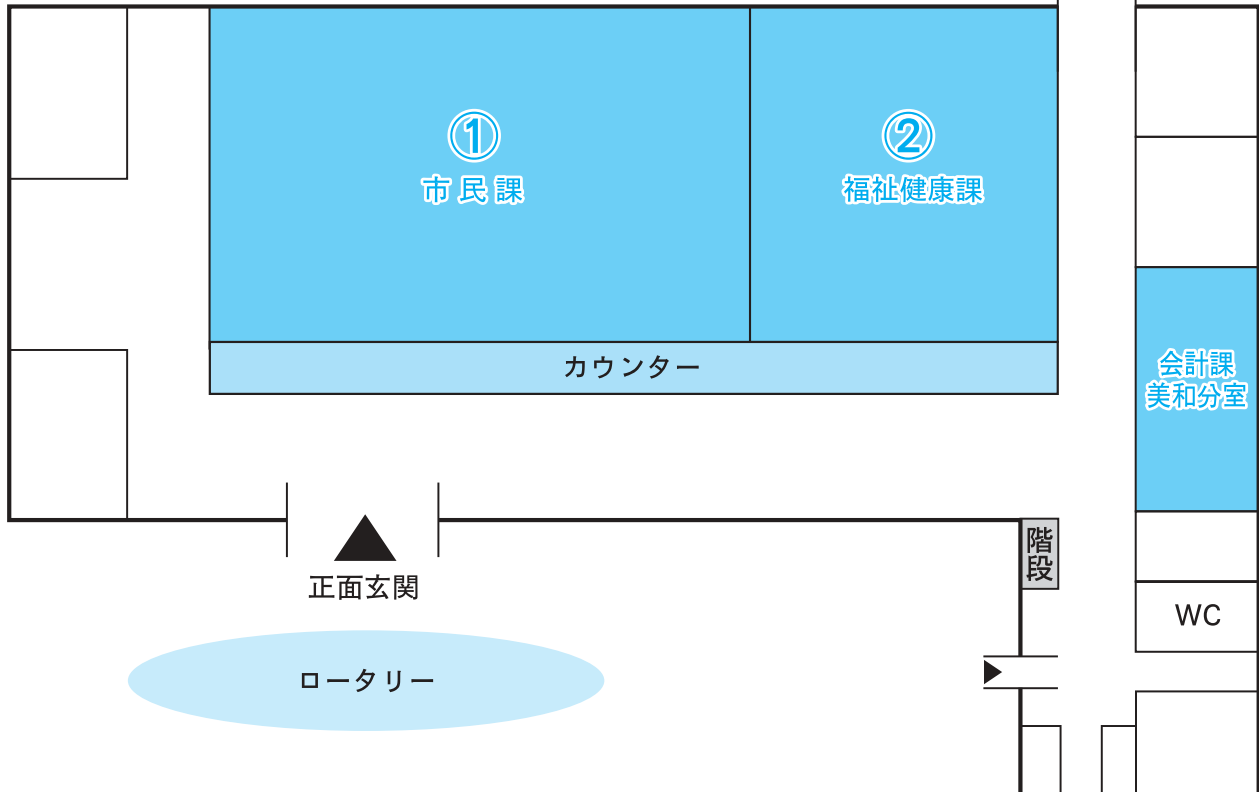


### 電話番号



①市民課 (58) 2111	④建設課 (58) 3852
②福祉健康課 (58) 3850	⑤教育委員会美和事務所 (58) 2142
③経済課 (58) 3851	⑥ふれあいセンター (58) 2816

## 1階







# 広報みわの歴史

昭和31年12月に第1号を発行した「広報みわ」。多くの方々に支えられながら386号を積み重ねてきました。最終号となった今回、その長い歴史を振り返ってみたいと思います。


**第50号**  
**昭和47年4月10日**  
**●母子の集い開かる**  
 第8回母子の集いが、役場で開かれ前年1年間に母子健康センターを利用して分べんした母子で優良児などの表彰が行われたほか、母子検診で1年間の課程を修了された方に終了証の交付が行われました。




**第1号**  
**昭和31年12月10日**  
**●4役**  
 村長 高野慶康  
 助役 小室 広  
 収入役 佐藤 恒  
 教育長 河西佐内  
**●人口9,110人**  
 戸数1,573戸  
 面積80.70km<sup>2</sup>




**第150号**  
**昭和60年2月20日**  
**●新たな地場産業 しめじ栽培**  
 新たな地場産業の創出をめざし、農林業の振興をはかるため、昭和59年度山村林業構造改善事業の一環として建設を進めていた美和村しめじ生産施設が完成しました。事業概要は、総事業費3,765万円で日量150kgのしめじ生産が見込まれました。




**第100号**  
**昭和55年12月1日**  
**●第4回美和村 黒毛和牛共進会**  
 畜産の振興と生産意欲の向上等を目的として、運動公園前で開催され、優等賞に佐川力三さん育成の「ひめこ号」が受賞されました。




**第250号**  
**平成5年6月20日**  
**●アスレチックタワー贈呈式**  
 5月1日にオープンした花立自然公園スペースアスレランド・アスレチックタワーの贈呈式が役場において行われ、財団法人日本宝くじ協会より大瀧村長に贈呈状が手渡されました。




**第200号**  
**平成元年4月25日**  
**●風船が結んだ交流会**  
 群馬県大胡小学校の児童が前年10月の運動会で飛ばした風船が本村で拾われました。その後連絡を取合い、相手方の6年生が、小学校最後の校外学習を美和村で行いたいということになり、嶺郷小学校6年生全員と交流会を行いました。



**第350号**  
**平成13年10月**  
**●那珂森林組合発足**  
 大宮・山方・美和・緒川の4町村が、美和村を本拠地として新生しました。  
**●檜沢小鼓笛隊交通安全パレード**  
 交通安全協会・母の会・檜沢小鼓笛隊の皆さんによる交通安全パレードが行われ、檜沢小から檜沢郵便局までの約1kmを行進しました。



**第300号**  
**平成9年8月**  
**●美和村観光キャラクターの愛称が決まる**  
 愛称募集を一般公募したところ、全国からたくさん作品が寄せられ、「スタッピー」と決定しました。応募者は、「星を見ながらハッピーな気分になるように」との意味で命名されたようです。



～都市との交流～

## ふくろ祭りに参加 (東京都豊島区)



10月3日、東京都豊島区池袋において、第37回ふくろ祭りが開催されました。美和村と豊島区は友好都市となっており、数年前から毎年参加しています。

この日は、あいにくの雨となってしまいましたが、美和村の特産物のしいたけや野菜などの販売を行いました。



## みんなのひろば

みなさんでつくってきたこのページも今回で終了となります。毎月、たくさんのご意見・話題・作品をご応募いただきありがとうございます。

## 文芸コーナー

### 短歌

- ・長良川鶺鴒ひの季節めぐりきてきらめく夜景演歌を偲ぶ
  - ・鈴虫の鳴く静寂の秋の夜様々なこと思ひ浮かべて
  - ・すう年の御霊を奉る靖国の墓場でねむるおじの姿や
  - ・戦時下の真っ只中の青春も溢れるほどの夢を抱きて
  - ・原爆に焼けしロザリオ眺めつ、心で歌う長崎の鐘
  - ・永き日の美和と云う字のつき合いに別れを告げる日の迫り来る
  - ・雲流る遙かなたに友のいる便りで安否を気遣いながら
  - ・虫干しや四ツ身の浴衣なつかしく娘の幼児期をたぐりてたたむ
- 川野 弘子   薄井 サイ   小室 久江   石川 桂子   鈴木 正

### 俳句

- ・秋風や秋桜ゆれてさびしそう
  - ・ほど、の老いの暮らしや蕎麦の花
  - ・統合を祝いし山河や揚花火
  - ・栗拾い孫を誘えば首を振り
  - ・遅蒔きの蕎麦涼風に咲揃ふ
  - ・日焼けして子等の体は弾むごと
  - ・すず虫がきれいな声で鳴いてるよ
- 愚 茶   和知 光   石川 桂子   鯉沼 嘉江   粟田 力雄   薄井 サイ   うすいかな

### 川柳

- ・ヒガンバナ咲いていつものお彼岸だ
  - ・自殺者が増える経済いろいろか
  - ・手に採れば高嶺の花も並の花
  - ・観光に衣類持参の隠し芸
  - ・書き馴れたお世話に成った美和の文字
- 愚 茶   鈴木 正   和知 光   粟田 力雄   川野 弘子

# 戸籍の窓口

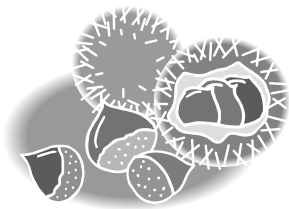
9月1日から  
9月30日までの届け出分  
(敬称略)

● お誕生おめでとうございます

こどもの名	保護者	自治会
皆川 礼名 <sup>れいな</sup>	正 宏 由紀子	小田野宿

● おくやみ申しあげます

氏 名	年 齢	自治会
河野長太郎	80歳	仲河戸下
堀江 カネ	85歳	袋 木
大森三次郎	88歳	鳥 居 土



[ 戸籍の窓口への掲載を希望されない方は、  
届け出の際にお申し出ください。 ]

## 《相談コーナー》

### 社会保険事務所の年金相談窓口開設

11月の年金週間期間中、社会保険事務所の年金相談窓口を次のとおり開設します。

- 平成16年11月6日（土）および7日（日）は、午前8時30分から午後5時まで年金相談窓口を開設します。
- 平成16年11月8日（月）から12日（金）は、午前8時30分から午後8時まで年金相談窓口を開設します。

#### 実施場所（5ヶ所）

水戸北社会保険事務所	水戸市大町2-3-32	☎029-231-3141
水戸南社会保険事務所	水戸市柳町2-5-17	☎029-231-4271
土浦社会保険事務所	土浦市下高津2-7-29	☎029-822-3940
下館社会保険事務所	下館市菅谷字大道1720	☎0296-22-4591
茨城社会保険事務局 日立事務所	日立市幸町2-10-22	☎0294-24-2121

※相談にお越しの際は、年金手帳・基礎年金番号通知書・年金証書・認印などをご持参下さい。

※ご家族などの代理の方がお越しになる場合には、ご本人からの「委任状」も必要になります。

### 11月6日から11月12日までは年金週間です



<お問合せ先>

役場住民福祉課保険係 ☎58-3851(直通)

28日	23日	21日	14日	7日	3日
53   丹治医院	52   大曾根内科小児科	52   岡崎外科医院	53   志村大宮病院	52   小泉医院	52   上久保医院
2   1	0   0	0   5	1   1	3   1	3   1
1   5	3   2	4   7	1   1	8   1	8   1

#### 大宮町

28日	23日	21日	14日	7日	3日
0   熊田診療所	0   高野医院	0   林田医院	0   北澤産婦人科	0   塩谷医院	0   鳥山台病院
2   8	2   8	2   8	2   8	2   8	2   8
7   7	7   7	7   7	7   7	7   7	7   7
88   2	82   3	88   2	88   2	82   1	83   1
8   1	8   8	8   8	8   5	8   3	8   6
2   3	2   0	2   2	2   5	2   6	2   1
1   6	1   3	1   6	1   5	1   9	1   6

#### 烏山町・南那須町

## 11月休日の診療

# 美和村閉村記念 作文・絵画コンクール 入選者紹介

## ● 作文の部

### 最優秀賞

木村 恵理 (檜沢小5年)  
大木亜莉奈 (薩郷小6年)  
相田 尚人 (美和中3年)

### 優秀賞

平塚 美咲 (檜沢小6年)  
和智 葵 (薩郷小5年)  
佐藤 佑美 (美和中2年)

### 努力賞

平塚 智大 (檜沢小4年)  
鈴木 睦子 ( " 4年)  
村田 順一 ( " 5年)  
小林 克至 ( " 6年)  
野澤 拓志 (薩郷小4年)  
長岡 常吉 ( " 4年)  
河西 千賀 ( " 5年)  
河野真也子 ( " 6年)  
堀江 聖奈 (美和中1年)  
中道 愛 ( " 1年)  
堀江あずさ ( " 3年)



## ● 絵画の部

### 最優秀賞

岡崎 美里 (檜沢小4年)  
葛西 美咲 (薩郷小3年)  
河西 麗奈 (美和中2年)

### 優秀賞

野崎 唯 (檜沢小5年)  
内田 匡哉 (薩郷小4年)  
堀江ひかり (美和中3年)

### 努力賞

小林 千晃 (檜沢小1年)  
小室 孝平 ( " 2年)  
高岡恵利華 ( " 3年)  
菊池 美姫 ( " 6年)  
佐藤 基貴 (薩郷小1年)  
堀江 春香 ( " 2年)  
河西 美優 ( " 5年)  
佐藤 大地 ( " 6年)  
皆川 知美 (美和中1年)  
国井 翔子 ( " 2年)  
岡山 莉那 ( " 3年)



## 雨の中 おつかれさまでした!



9月5日、尺丈山「百樹の森」森づくりボランティア協議会の活動として、2回目の下草刈が行われました。今回は、雨が降る中の作業となってしまいましたが、手際よく草を刈ることが出来ました。これからも森の百年後を夢見て続けられていきます。秋の行楽シーズンです。山に入るときはルールとマナーを守りましょう。

## 実りの秋!



10月1日、檜沢小学校の5年生が総合的な学習の中で、5月に田植えをした稲がたわわに実り「稲刈り」が行われました。直前になって台風の影響もありましたが、慣れない鎌に苦戦しつつ、ていねいに刈り取っていました。今年の夏は天候にも恵まれていたので豊作が期待されます。

## 編集後記

▼昭和31年の創刊以来、多くの先輩方が作ってきた広報の歴史に、今号(第386号)をもって終止符がうたれます。  
▼私が担当してまだ11ヶ月と短い期間でしたが、その最後の担当であったことがうれしくもあり、悲しくもあり、複雑な気持ちです。▼美和村の広報紙は、住民の皆さんとともに作り上げてきました。取材に行く先々で暖かい笑顔がそこにはありました。▼この仕事を通じていろんなことを学ばせていただきました。至らないこともあったと思いますが、今後の糧にしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。▼これから、常陸大宮市の広報紙が創刊され、新しい1ページが開かれていくことになりました。今後ともどうか温かい目で見守ってください。(小)

